



2023年10月25日

各 位

会 社 名 株式会社 大庄  
代表者名 代表取締役社長 平 了壽  
(コード：9979 東証スタンダード市場)  
問合せ先 代表取締役副社長兼管理本部長 野間 信護  
(TEL. 03-5764-2229)

## 剰余金の処分及び剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年11月28日開催予定の「第52回定時株主総会」に剰余金の処分及び2023年8月31日を基準日とする剰余金の配当について付議することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 剰余金の処分

##### (1) 剰余金の処分の目的

当社は、当事業年度末において繰越利益剰余金の欠損額 962,224,072 円を計上しております。つきましては、現在生じている繰越利益剰余金の欠損を補填し財務体質の健全化を図ることを目的として、会社法第 452 条の規定に基づき、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替え、欠損を補填するものであります。

##### (2) 剰余金の処分の内容

###### ①減少する剰余金の項目とその額

その他資本剰余金 962,224,072 円

###### ②増加する剰余金の項目とその額

繰越利益剰余金 962,224,072 円

##### (3) 効力発生日

2023年11月29日(予定)

なお、本件は、純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、純資産の変動はなく、当社業績に与える影響はありません。

#### 2. 剰余金の配当

##### (1) 配当の理由

当社は、企業価値の向上並びに株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題に位置付けております。また、利益配分につきましては、事業拡大に向けて内部留保の充実に努めるとともに、株主の皆様に対しては、安定した配当を継続的に行うことを基本方針としつつ、業績動向や財務健全性の状況も十分に考慮した上での適正な利益還元を行っていきたくと考えております。

当期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい結果とはなりましたが、足許での飲食事業の着実な回復や各事業における取組み施策等により下半期においては営業黒字で推移している事も踏まえ、当期末の配当金につきましては1株当たり6円とさせていただきます、通期では前期と同額の年間6円となります。また、次期の配当金につきましては、現時点では未定とさせていただきます、今後の業績等を勘案しながら判断してまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年10月16日公表)	前期実績 (2022年8月期)
基準日	2023年8月31日	同左	2022年8月31日
1株当たり 配当金	6円00銭	同左	0円00銭
配当金の総額	125百万円	—	—
効力発生日	2023年11月29日	—	—
配当原資	その他資本剰余金	—	—

※純資産減少割合 0.015 (小数点以下第3位未満切上げ)

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
当期実績	0円00銭	6円00銭	6円00銭
前期実績 (2022年8月期)	6円00銭	0円00銭	6円00銭

以 上